

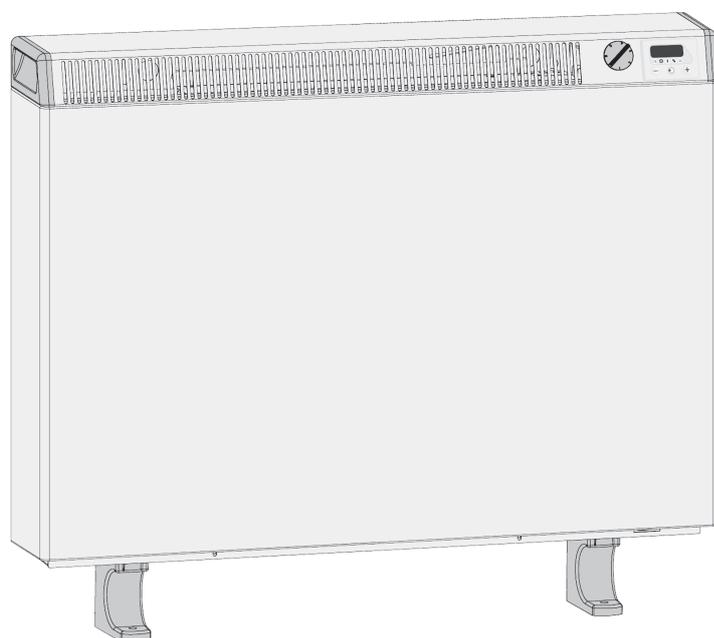
**STIEBEL ELTRON**

# 蓄熱式電気暖房器 取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

品 名……スタティック  
ETC-TEJシリーズ

型 名……●ETC-150TEJ  
●ETC-220TEJ  
●ETC-300TEJ



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP. 1 「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

## [目次]

### ●取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 各部のなまえと機器の特長	3
2-1. 機器の特長	3
2-2. 各部のなまえ	3
3. 運転のしかた	4
3-1. 現在時刻と通電時間の設定	4
3-2. 蓄熱量の設定	6
3-3. 放熱量の調節のしかた	10
3-4. 追焚きのしかた	10
4. 日常の点検とお手入れ	11
5. 故障かな?と思ったら	12
6. 点検及び修理について	13
7. 仕様	14

### ●取付説明書

1. 安全上のご注意	16
2. 各部のなまえ	19
3. 部品の確認	19
4. 仕様と配線図	20
4-1. 標準仕様	20
4-2. 結線図	20
5. 機器の設置	21
5-1. 設置場所の確認と屋内配線の準備	21
5-2. 機器の固定	24
5-3. 蓄熱体の組込み	26
5-4. 配線の接続	28
6. 試運転の手順	30
保証書	33

# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
---	---

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 <b>禁止マーク</b> してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b> 注意することを示します。
 <b>指示マーク</b> 必ず行なうことを示します。

## 警告

### 禁止



絶対に改造はしないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。



濡れた手で機器を操作しないでください。



機器を運転中、運転後は、機器表面や吹出グリルが熱くなっているので触らないでください。また、お子様が近寄らないようにしてください。



機器の上や機器の近くで、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



機器に衣類等を置いて乾かしたりしないでください。



機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。  
(離隔距離は、壁紙や棚、カーテン等の品質を保証する距離ではありません。)

	前面パネル	天板パネル	左面パネル	右面パネル
離隔距離	500mm以上	200mm以上	150mm以上	150mm以上

※カーテン等、全ての繊維類は、機器から200mm以上離してください。

## ！ 指示

- ！ 背面固定金具用ネジセットが正しく使用され、機器がしっかりと壁面と床面に固定されていることを確かめてください。
- ！ 補強を行なっても震災、その他の天変地異で転倒する可能性があります。万が一転倒した場合は、下記の①～③を実施の上、日本スティーベル(株)にご連絡ください。
  - ①機器の専用ブレーカを「切」(OFF) にしてください。
  - ②落下物がある場合は取り除いてください。
  - ③建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。
  - ④機器が熱い状態で転倒した場合は、機器の周りから床等に水を流してください。
- ！ お子様や身体に障害がある方が操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。
- ！ 機器に異常が発生した場合は、機器の電源ブレーカを「切」(OFF) にして日本スティーベル(株)にご連絡ください。

## ⚠ 注意

### ⊘ 禁止

- ⊘ 機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
- ⊘ 機器のボタン電池は、「CR2032」以外を入れしないでください。交換する際は、機器の専用ブレーカを「切」(OFF) にしてから作業してください。
- ⊘ 機器の隙間から、内部に物を入れしないでください。

## ！ 指示

- ！ 機器をご使用になる前に現在時刻のズレ、通電開始時間と通電時間のズレを必ず確認してください。(P.4「3-1」参照)
- ！ 現在時刻が点滅している場合は、必ずボタン電池を交換(P.11「4(2)」参照)し、現在時刻を確認してください。(P.4「3-1」参照。)
- ！ 機器を使用した場合、暖房の熱等で家具や棚等の木質系素材が反る、割れる、変形する可能性があります。機器周辺には乾燥、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。
- ！ 機器を使用した場合、熱により周囲が変色する可能性があります。機器周辺には、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。
- ！ 機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
- ！ 機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。
- ！ 機器の移設を行なう場合は、日本スティーベル(株)にご相談ください。

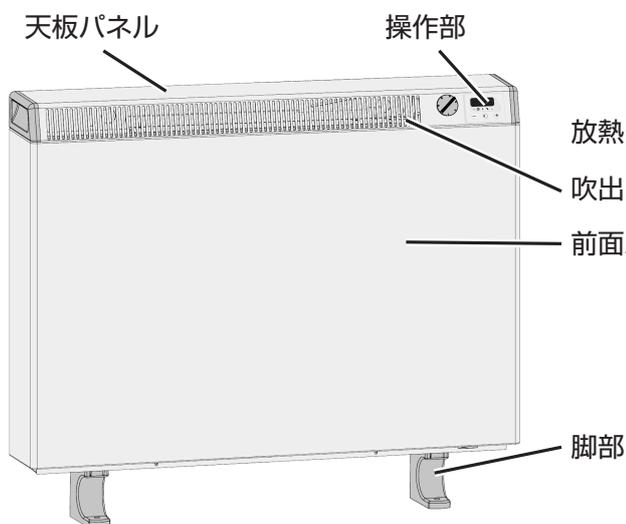
# 2. 各部のなまえと機器の特長

## 2-1. 機器の特長

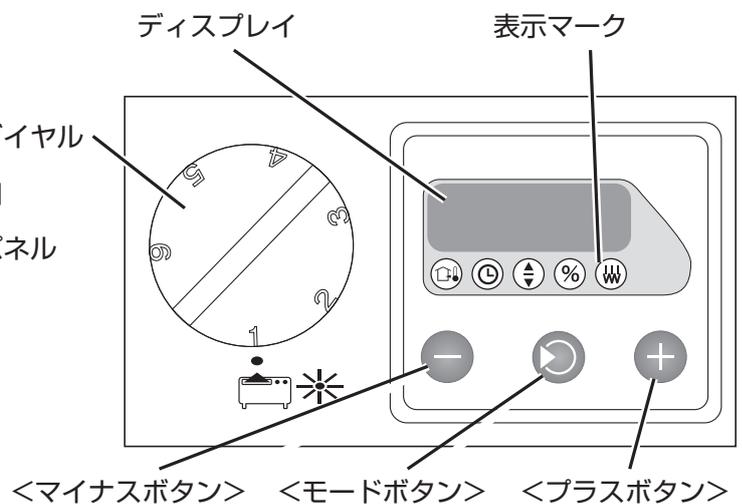
蓄熱式電気暖房器ETC-TEJシリーズ(文章中、「機器」と表記)は、自然対流とふく射を主体として放熱を行なう暖房器です。電気代が安価な時間帯に内部の蓄熱体に熱を蓄え、その熱でお部屋を暖めることができます。火を使わないので、燃焼に伴う臭いがなく、水蒸気が発生せず結露を生じません。アレルギーの原因となるカビ、ダニの発生を抑え、家にも人にも優しい暖かさを提供します。さらに、ファンを内蔵していないため、送風に伴う音の発生がなく、気流感のない静かな環境を保ちます。

## 2-2. 各部のなまえ

### (1) 機器外観



### (2) 操作部詳細

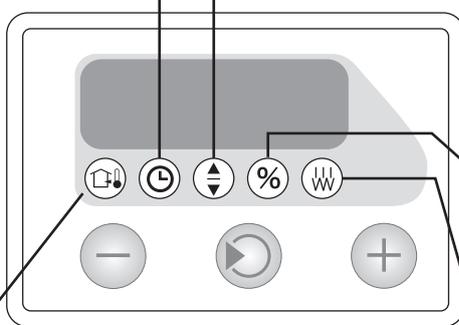


### (3) 表示マークのみかた

「時刻」  
点灯中は、ディスプレイに現在時刻を表示しています。

「設定」  
点灯中は、同時に点灯している表示マークの値を、<プラスボタン>、<マイナスボタン>で設定できます。

「外気温度」  
シーズンセンサーを使用している場合は、ディスプレイに24時間の平均外気温度を表示しています。



「蓄熱料」  
点灯中は、現在蓄熱量／設定蓄熱量をディスプレイに表示します。

「通電表示」  
蓄熱時に点灯します。  
追焚き時には点滅します。

# 3. 運転のしかた

## 3-1. 現在時刻と通電時間の設定

### 3-1-1. 現在時刻の設定

- ①機器の電源ブレーカを「入」(ON)にします。
- ②ディスプレイの表示が点灯することを確認します。

参考図



- ③<モードボタン>を押して、「時刻」を点灯させます。



- ④<モードボタン>を5秒間押し続けて、「時刻」と「設定」を点灯させます。

#### MEMO

- <モードボタン>を押した際に表示が切り替わりますが、そのまま<モードボタン>を押し続けてください。途中で<モードボタン>を離すと設定変更ができません。



- ⑤「時刻」と「設定」が点灯している間に<プラスボタン>、または<マイナスボタン>で現在時刻を設定します。

#### MEMO

- 現在時刻は1分単位で増減します。長押しすると、増減スピードが速くなります。



### 【重要】

- 現在時刻がずれていると、電気代が高くなる場合があります。必ず現在時刻を日本標準時に合わせてください。



## 3-2. 蓄熱量の設定

シーズンセンサーをご利用 (<モードボタン>で「外気温度」を点灯させたときに、ディスプレイに平均外気温度が表示される場合) の方は、蓄熱量を設定する必要はありません。必要な場合はP. 7「3-2-2」に従って設定を変更してください。

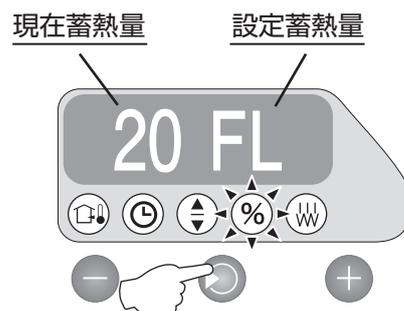
### 3-2-1. 操作部で設定する場合 (シーズンセンサーをご利用でない場合)

翌日の外気温度が低い場合は、設定蓄熱量を多くし、翌日の外気温度が高い場合は、設定蓄熱量を少なくして使用します。

#### (1) 蓄熱量の設定のしかた

①<モードボタン>を押して、「蓄熱量」を点灯させます。

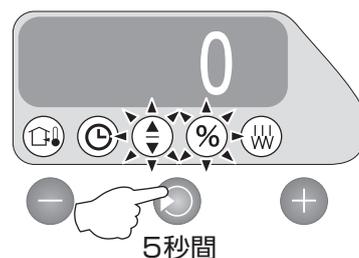
○ディスプレイの左側2桁が現在蓄熱量、右側2桁が設定蓄熱量を示しています。



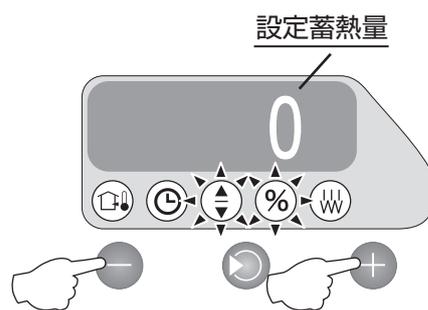
②<モードボタン>を5秒間押し続けて、「蓄熱量」と「設定」を点灯させます。

#### MEMO

○<モードボタン>を押した際に表示が切り替わりますが、そのまま5秒以上<モードボタン>を押し続けます。途中で<モードボタン>を離すと設定変更できません。



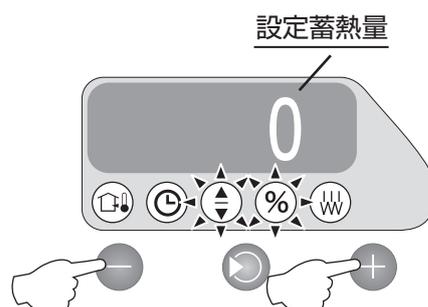
③<プラスボタン>、または<マイナスボタン>を押して、設定蓄熱量を10%単位で変更します。



#### (2) 蓄熱を停止する場合

①蓄熱を停止する場合は、<マイナスボタン>を押してディスプレイ上で設定蓄熱量を0%にします。

②専用ブレーカを「切」(OFF)にします。



## 3-2-2. シーズンセンサーをご利用で設定を変更する場合

### (1) 設定項目表

シーズンセンサー使用時は、次の項目を設定することができます。

操作部表示	用語	設定内容	設定範囲
0 XX	A： <u>設定蓄熱量 の下限値</u>	保持する蓄熱量の下限値を設定します。 <u>蓄熱開始時の外気温度</u> になると、 <u>設定蓄熱量の下限値</u> 以上に蓄熱します。	0% ~ 50%
1 XX	B： <u>最大蓄熱時 の外気温度</u>	<u>設定蓄熱量</u> を100%にする <u>平均外気温度</u> を設定します。 その平均外気温度を下回ると、100%蓄熱します。 <u>最大蓄熱時の外気温度</u> と <u>蓄熱開始時の外気温度</u> の関係から、 <u>設定蓄熱量</u> を0%~100%で自動的に設定します	-30℃ ~ 10℃
2 XX	C： <u>蓄熱開始時 の外気温度</u>	蓄熱を開始する外気温度を設定します。 その温度を下回ると、蓄熱を開始します。	0℃ ~ 25℃

### (2) 設定の変更

#### A：設定蓄熱量の下限値の設定

標準設定ですので、通常は変更しないでください。  
設定範囲は0%~50%です。

①<モードボタン>を押して、ディスプレイに「外気温度」を点灯させます。

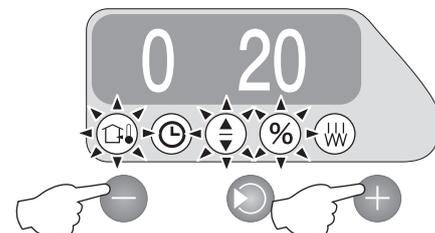
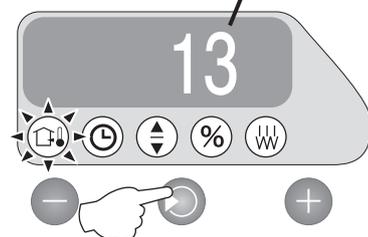
○ディスプレイには過去24時間の平均外気温度が表示されます。

②<プラスボタン>と<マイナスボタン>を同時に5秒間押し続けます。

③「外気温度」、「蓄熱量」、「設定」が点灯し、ディスプレイに設定蓄熱量の下限値「0 XX」が表示されます。

④<プラスボタン>、または<マイナスボタン>で下限値を1%単位で変更します。

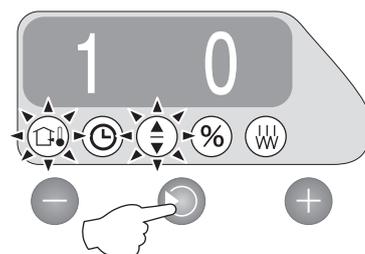
24時間の平均外気温度



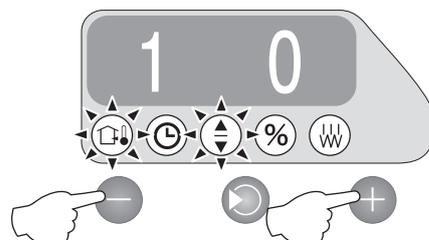
## B：最大蓄熱時の外気温度の設定

設定範囲は、 $-30^{\circ}\text{C}$ ～ $10^{\circ}\text{C}$ です。

①前項A：の状態から<モードボタン>を押すと、「外気温度」と「設定」が点灯し、ディスプレイが「1 XX」と最大蓄熱時の外気温度の表示に切り替わります。



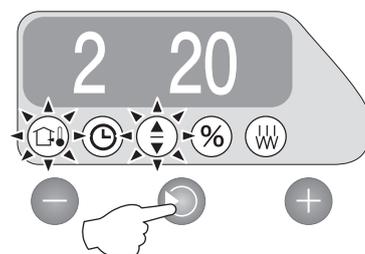
②<プラスボタン>、または<マイナスボタン>を押して、最大蓄熱時の外気温度を $1^{\circ}\text{C}$ 単位で変更します。



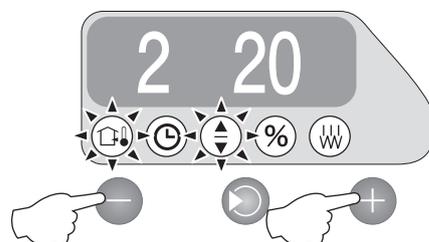
## C：蓄熱開始時の外気温度の設定

設定範囲は、 $0^{\circ}\text{C}$ ～ $25^{\circ}\text{C}$ ですが、B：最大蓄熱時の外気温度の設定より低い温度にはできません。

①前項B：の状態から<モードボタン>を押すと、「外気温度」と「設定」が点灯し、ディスプレイが「2 XX」と蓄熱開始時の外気温度の表示に切り替わります。



②<プラスボタン>、または<マイナスボタン>を押して、蓄熱開始時の外気温度を $1^{\circ}\text{C}$ 単位で変更します。



### MEMO

- 10秒間無操作状態が続くと、表示されている数字で確定し、「外気温度」のディスプレイ表示に戻ります。

## (3) 蓄熱を停止する場合

- ①外気温度が(2) C：で設定した温度以上になると、自動的に蓄熱を停止します。
- ②①以外で蓄熱を停止したい場合は、専用ブレーカを「切」(OFF)にします。

## (4) こんな時は？

- ①お部屋が全体的に暖まりすぎる。→ 最大蓄熱時の外気温度の設定を低くします。  
(例：10℃ (図1) → -10℃ (図2) へ変更)
- ②お部屋が全体的に暖まりにくい。→ 最大蓄熱時の外気温度の設定を高くします。  
(例：-10℃ (図2) → 10℃ (図1) へ変更)

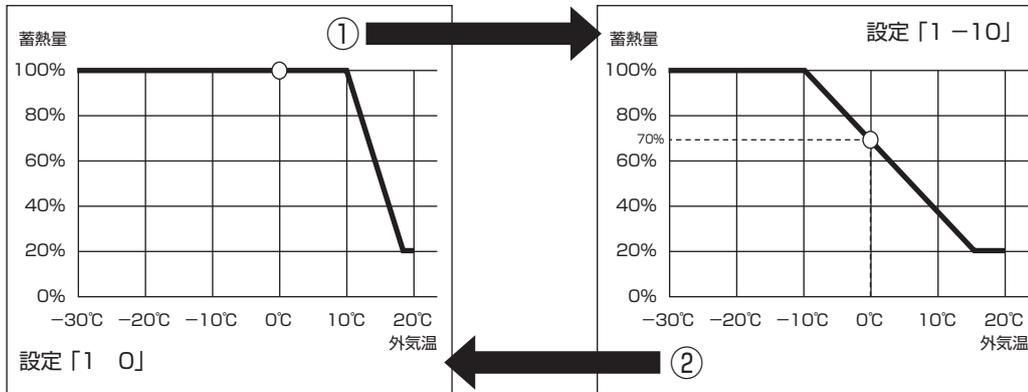


図1：0℃で100%蓄熱（下限値20%設定）

図2：0℃で70%蓄熱（下限値20%設定）

### MEMO

最大蓄熱時の外気温度の設定を変更することで、同じ外気温度0℃に対して、設定蓄熱量が100%から70%、または70%から100%へ変わります。

- ③寒くなるまで暖房をしたくない。→ 蓄熱開始時の外気温度の設定を低くします。  
(例：20℃ (図3) → 15℃ (図4) へ変更)
- ④早めに暖房を始めたい。→ 蓄熱開始時の外気温度の設定を高くします。  
(例：15℃ (図4) → 20℃ (図3) へ変更)

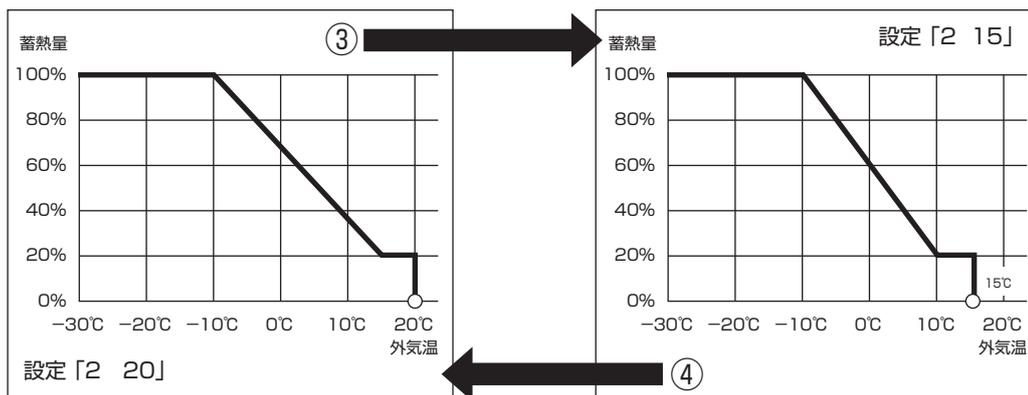


図3：20℃で蓄熱開始（下限値20%設定）

図4：15℃で蓄熱開始（下限値20%設定）

### MEMO

蓄熱開始時の外気温度の設定を20℃から15℃へ変更することで、同じ外気温度20℃に対して蓄熱を開始しないようにします。

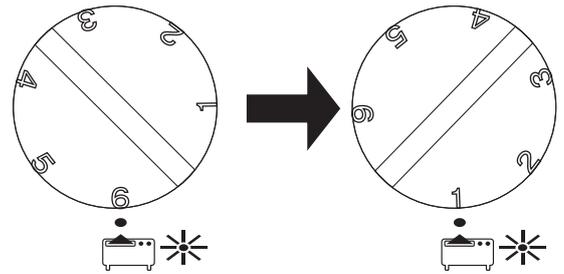
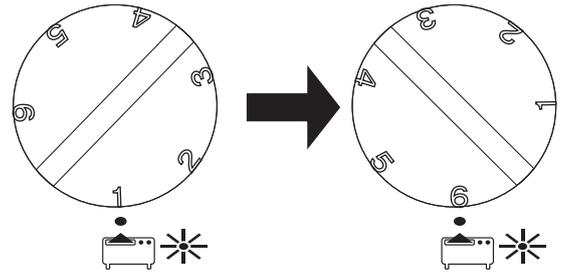
### 3-3. 放熱量の調節のしかた

- ①機器の放熱量を増やしたい場合は、放熱ダイヤルを大きめに設定します。(1 → 6)

#### MEMO

- 現在蓄熱量が大きい場合は、一定量以上の放熱量にならないように自動調節されています。

- ②機器の放熱量を減らしたい場合は、放熱ダイヤルを小さめに設定します。(6 → 1)

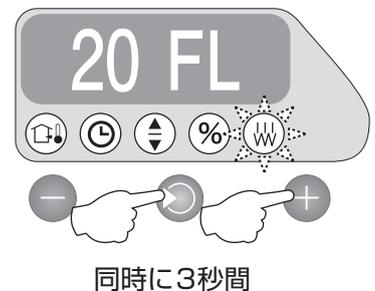


### 3-4. 追焚きのしかた

通電時間の時間帯以外で設定蓄熱量が現在蓄熱量より大きい場合、ヒーターに通電して追焚きができます。

#### 3-4-1. 追焚きを開始する場合

- ①操作部の<モードボタン>と<プラスボタン>を同時に3秒間押し続けます。
- ②「通電表示」が点滅し、追焚きが始まったことを確認します。



#### 3-4-2. 追焚きを終了する場合

- ①操作部の<モードボタン>と<マイナスボタン>を同時に3秒間押し続けます。
- ②「通電表示」が消灯し、追焚きが終了したことを確認します。



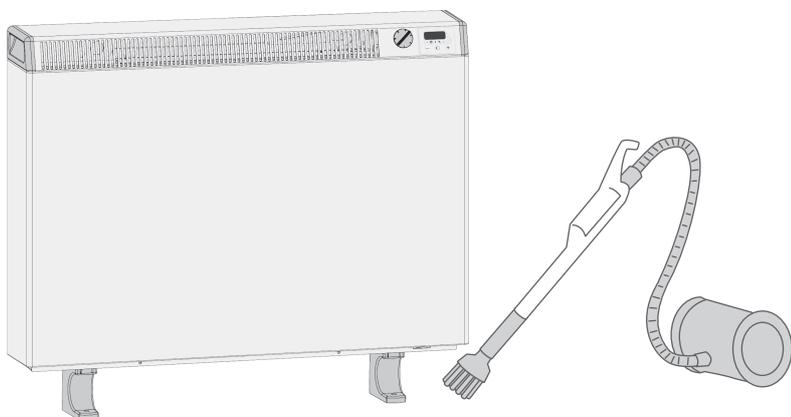
#### 【重要】

- 電気代が高い時間帯に追焚きをかけると電気代が高くなる可能性があります。

## 4. 日常の点検とお手入れ

### (1) 1週間に1回のお掃除

機器の脚元のほこりを掃除機等で清掃してください。



#### おねがい

前面パネル等の外装パネルが汚れている場合は、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロン製たわし等の使用を避け、乾いた布等で拭いてください。

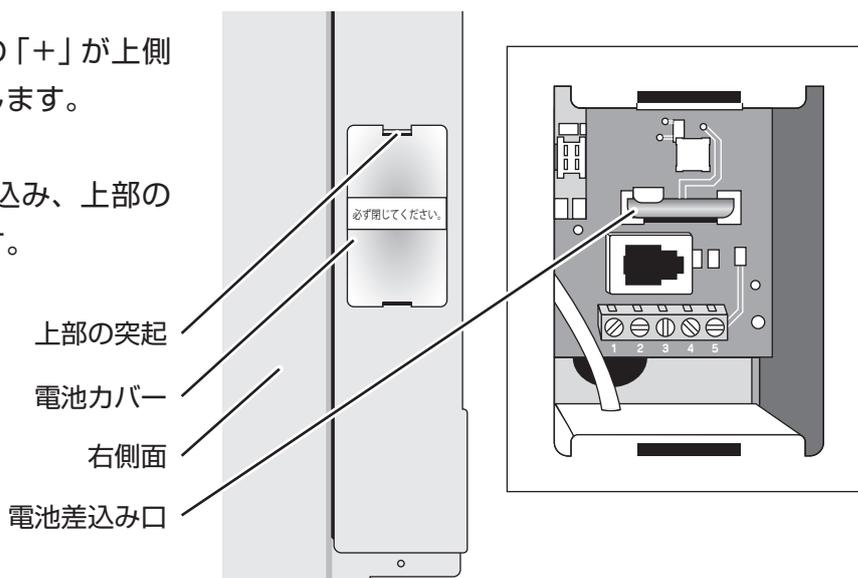
### (2) 電池の交換

ディスプレイで現在時刻が点滅している場合は、専用ブレーカを「切」(OFF)にして、下記の方法でボタン電池を交換してください。

#### おねがい

○事前に市販の「CR2032」ボタン電池1個をご用意ください。

- ①機器右側面奥の電池カバー上部の突起を下に押しながら手前に引いて、電池カバーを外します。
- ②新しい「CR2032」ボタン電池の「+」が上側になるように電池差込み口に挿入します。
- ③電池カバーは、下側を機器に差し込み、上部の突起を機器へ押し込んで固定します。



- ④<モードボタン>を押し「時刻」を点灯させ、ディスプレイの現在時刻がずれていないことを確認します。

# 5. 故障かな?と思ったら

下記の処置を行なった後に、再度、専用ブレーカの「切」(OFF) → 「入」(ON) を行ない再処置をしても現象が改善しない場合は、日本スティーベル(株)にご連絡ください。(P. 13「6. 点検及び修理について」参照)

現象	確認項目	処置内容	参照ページ
機器が温まらない。	機器の専用ブレーカが「入」(ON) になっていますか。	機器の専用ブレーカを「入」(ON) にしてください。	P. 4 3-1
	設定蓄熱量が0%になっていませんか。	設定蓄熱量を変更してください。	P. 6 3-2
	通電時間が短くなっていませんか。	通電時間を合わせてください。	P. 5 3-1-2
	機器の離隔が守られていますか。	機器の離隔距離内に物を置かないでください。	P. 1 1
ダンパーが開かない。	放熱ダイヤルが空回りしていませんか。	日本スティーベル(株)にご連絡ください。	P. 13 6
電気代の高い時間帯に蓄熱する。	現在時刻がずれていませんか。	現在時刻を合わせてください。	P. 4 3-1-1
	通電開始時間がずれていませんか。	通電開始時間を合わせてください。	P. 5 3-1-2
	通電時間がずれていませんか。	通電時間を合わせてください。	P. 5 3-1-2
現在時刻が点滅する。	機器のボタン電池が切れかかっています。	市販の「CR2032」電池を購入し、交換してください。	P. 11 4(2)
ブレーカが落ちる。	—————	日本スティーベル(株)にご連絡ください。	P. 13 6
機器が熱過ぎる。	通電開始時間がずれていませんか。	通電開始時間を合わせてください。	P. 5 3-1-2
	通電時間がずれていませんか。	通電時間を合わせてください。	P. 5 3-1-2
	機器の離隔が守られていますか。	機器の離隔距離内に物を置かないでください。	P. 1 1
初期の運転時に臭いがする。	断熱材や蓄熱体、ヒーターに付着した成分などの臭いです。	臭いがなくなるまで、お部屋を十分に換気してください。	—————

次の場合は故障(異常)ではありません。

現象	原因	参照ページ
蓄熱時に機器から音がする。	ヒーターがON/OFFする時にはリレーの動作音が発生しますが、異常ではありません。	—————
蓄熱、または放熱時に機器から音がする。	熱の影響による機器の熱膨張または、収縮による音で、異常ではありません。	—————
ダンパーが開かない。	現在蓄熱量が高い場合は、放熱ダイヤルの設定を大きくしてもダンパーは開きません。	—————
機器からときどき「カチッ」と音がする。	機器内部の部品が動作している音で、異常ではありません。	—————
機器が通常よりも熱い気がする。	外気温度や設置状況により、表面温度に変化が出ることがあります。	—————
通電開始時間になっても蓄熱されない。	ピークシフトにより、通電開始時間直後には蓄熱を開始しないことがあります。	—————
右側面側で光が点滅している。	機器が正常に動作している場合の制御信号です。	—————

## 6. 点検及び修理について

### (1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書のP. 12「5. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。

**TEL:044-540-3203**

平日 9:00~17:30 (土日祝日および特定休業日を除く)

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ①型名 : 銘板ラベルに併記
- ②製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③不具合の内容 : 蓄熱しない等の症状、及びご使用条件
- ④お取付け年月日 :
- ⑤お名前、ご住所、電話番号 :

### (2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

### (3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にご連絡ください。保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。



おねがい

- お客さまご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

# 7. 仕様

型名		ETC-150TEJ	ETC-220TEJ	ETC-300TEJ
電圧		単相200V		
周波数		50/60Hz		
消費電力 (kW)		1.50	2.25	3.00
最大蓄熱量 (kWh)		12.1	18.1	24.1
有効蓄熱量 (kWh)		10.9	16.2	21.9
外形寸法	幅 (mm)	585	815	1045
	高さ (mm)	700		
	奥行 (mm)	220		
総質量 (kg)		88	129	175
蓄熱体質量 (kg)		64	96	128
蓄熱体	梱包数	4	6	8
	蓄熱体数	8	12	16
主要部品	ヒーター	高耐熱ステンレスシーズヒーター		
	蓄熱体	フェオライト		
	蓄熱センサー	白金測温抵抗体		
	放熱ダンパー	バイメタル式		
	過熱防止器	手動復帰式過昇温防止器 / 自動復帰式過昇温防止器		
	電子基板	200V駆動		
	転倒時回路遮断	機器転倒時回路遮断器 (傾斜60°以上で全回路遮断)		

オプション部品 (別売品)	
シーズンセンサー	サーミスターセンサー
通信ケーブル	シーズンセンサーケーブル延長用 耐熱105℃以上 耐寒性-20℃ 難燃性

# ETC-TEJシリーズ 取付説明書

品 名……スタティック  
ETC-TEJシリーズ

型 名……●ETC-150TEJ  
●ETC-220TEJ  
●ETC-300TEJ

## 取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに取付説明書のP.16「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。
- 別紙、保証書(写)に必要事項を記入の上、必ず保管してください。

日本スティーベル株式会社

# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 <b>禁止マーク</b>	してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b>	注意することを示します。
 <b>指示マーク</b>	必ず行なうことを示します。

## 警告

### 禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  付属の電源ケーブルを外さないでください。
-  取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器の試運転中、試運転直後は、機器が熱くなっている場合がありますので触らないでください。
-  ジョイントボックスは、機器の右面パネルから50mm以上離して設置し、機器背面には絶対に設置しないでください。
-  畳、じゅうたん、クッションフロアなどの上に設置するのは、絶対におやめください。
-  機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。

 他の機器と隣接させないでください。

 全ての端子台のネジは必ず増締めし、増締めを行わないまま、お客様に引き渡さないでください。

## 注意

 電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。

 電源ケーブルを機器内部で弛ませないでください。

## 指示

 アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。

 電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。

 電源仕様、定格電流、及び消費電力を右面パネル下部の銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って配線してください。

 機器内部のケーブル端子が機器内部に接触していないこと、コネクタ類が抜けたり、緩んだりしていないことを確認してください。

 ジョイントボックスは、機器の右面パネルから50mm以上離して設置してください。

 機器は、適切な壁補強、並びに床補強がされた壁面と床面に固定してください。

 機器の離隔距離を守って設置してください。

	前面パネル	天板パネル	左面パネル	右面パネル
離隔距離	500mm以上	200mm以上	150mm以上	150mm以上

※カーテン等、全ての繊維類は、機器から200mm以上離してください。

 設置地域の火災予防条例に即した離隔距離をとってください。

 機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず、日本スティーベル(株)にご連絡ください。

## 注意

### 禁止



設置前の機器や蓄熱体は、雨水や風雪が当たる場所や、雪上や氷上に置かないでください。



機器の天板パネルの上に物を置いたり、寝転がったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。



機器のボタン電池は、「CR2032」以外を入れしないでください。交換する際は、機器の専用ブレーカを「切」(OFF) にしてから作業してください。

### 注意



機器のパネルを外す場合は、怪我をしないように気を付けてください。



蓄熱体は、落とさないよう両手で持って運んでください。

### 指示



仕上げ材、及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等は、ホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。



棚下等に設置した場合は、棚板等の含水量や空気の乾燥度によっては反る場合があります。正しい離隔を保たれていても、板等の反りについては保証しておりません。



必ず試運転を行ってから、お客様に引き渡してください。



試運転の際に、現在時刻を確認し、通電開始時間と通電時間をお客様の電気契約に適した時刻に設定してください。



現在時刻が点滅している場合は、必ずボタン電池を交換し、現在時刻を確認してください。



試運転時の検査記録を、必ず検査記録表 (P. 32「6. 試運転 (4) 検査記録」) に記入してください。



取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、及びお取付け日等の必要事項を記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。

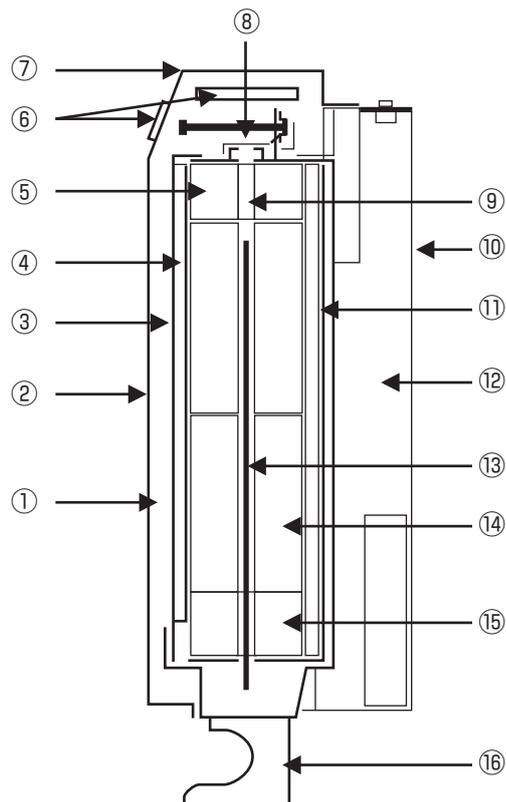


工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行ってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。



取扱説明書は、お客様に必ず保管していただくようにお渡しください。

## 2. 各部のなまえ



- |           |           |
|-----------|-----------|
| ① 前面空気ダクト | ⑨ 内部空気ダクト |
| ② 前面パネル   | ⑩ 背面カバー   |
| ③ バッフル板   | ⑪ 背面断熱材   |
| ④ 前面断熱材   | ⑫ 背面空気ダクト |
| ⑤ 上部断熱材   | ⑬ ヒーター    |
| ⑥ 吹出し口    | ⑭ 蓄熱体     |
| ⑦ 天板      | ⑮ 下部断熱材   |
| ⑧ ダンパー    | ⑯ ETC-T脚  |

## 3. 部品の確認

部品名	同梱場所	数量	部品名	同梱場所	数量
機器本体	—	1台	ETC-T脚	機器内部	2個
蓄熱体	別梱包	下記	背面金具床固定 ネジセット	機器内部	1セット
取扱取付説明書（保証書付）	機器前面パネルの上	1冊			

### 蓄熱体

型 名	150TEJ	220TEJ	300TEJ
蓄熱体梱包数（ ）内は蓄熱体数	4 (8)	6 (12)	8 (16)

### 背面金具床固定ネジセット

型 名	150TEJ	220TEJ	300TEJ
背面固定金具固定用ネジとワッシャー (φ6×40)	4	4	4

### オプション部品

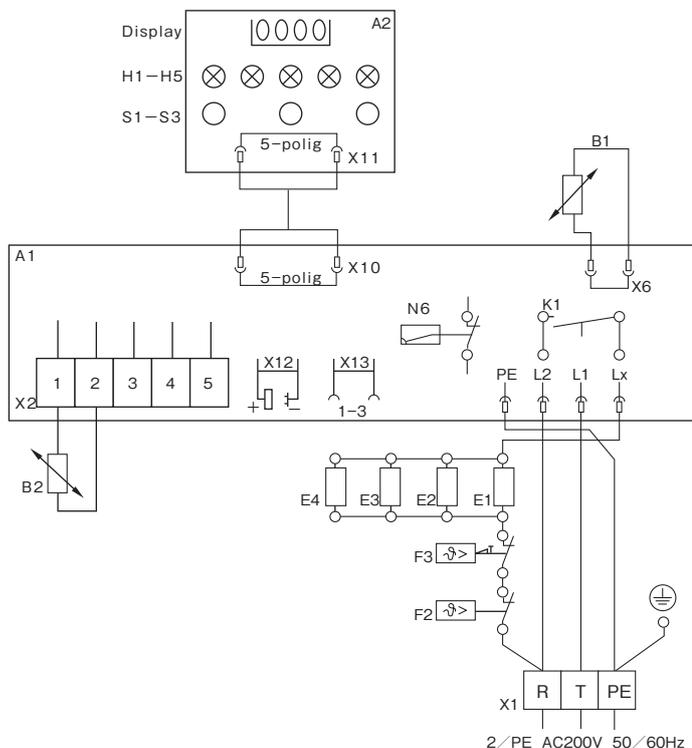
シーズンセンサー	サーミスターセンサー
通信ケーブル	シーズンセンサーケーブル延長用 耐熱性105℃以上 耐寒性-20℃ 難燃性

# 4. 仕様と配線図

## 4-1. 標準仕様

型名		150TEJ	220TEJ	300TEJ
ヒーター 定格	電圧	単相200V		
	周波数	50/60Hz		
	消費電力 (kW)	1.50	2.25	3.00
漏電ブレーカ定格電流 (A)		15	20	20
最大蓄熱量 (kWh)		12.1	18.1	24.1
有効蓄熱量 (kWh)		10.9	16.2	21.9
外形寸法	幅 (mm)	585	815	1045
	高さ (mm)	700		
	奥行 (mm)	220		
総質量 (kg)		88	129	175
蓄熱体質量 (kg)		64	96	128
蓄熱体数		8	12	16
主要部品	ヒーター	高耐熱ステンレスシーズヒーター		
	蓄熱体	フェオライト		
	蓄熱センサー	白金測温抵抗体		
	放熱ダンパー	バイメタル式		
	過熱防止器	手動復帰式過昇温防止器 / 自動復帰式過昇温防止器		
	電子基板	200V駆動		
	転倒時回路遮断	転倒時回路遮断器 (傾斜60°以上で全回路遮断)		

## 4-2. 配線図



- A1 : 基板
- A2 : 操作部基板
- B1 : 蓄熱センサー
- B2 : シーズンセンサー (オプション)
- E1-E4 : ヒーター
- F2 : 自動復帰式過昇温防止器
- F3 : 手動復帰式過昇温防止器
- K1 : リレー
- N6 : 転倒時回路遮断器
- H1-H5 : 表示ランプ
- S1-S3 : 操作ボタン
- X1 : 主回路端子台
- X2 : 補助回路端子台

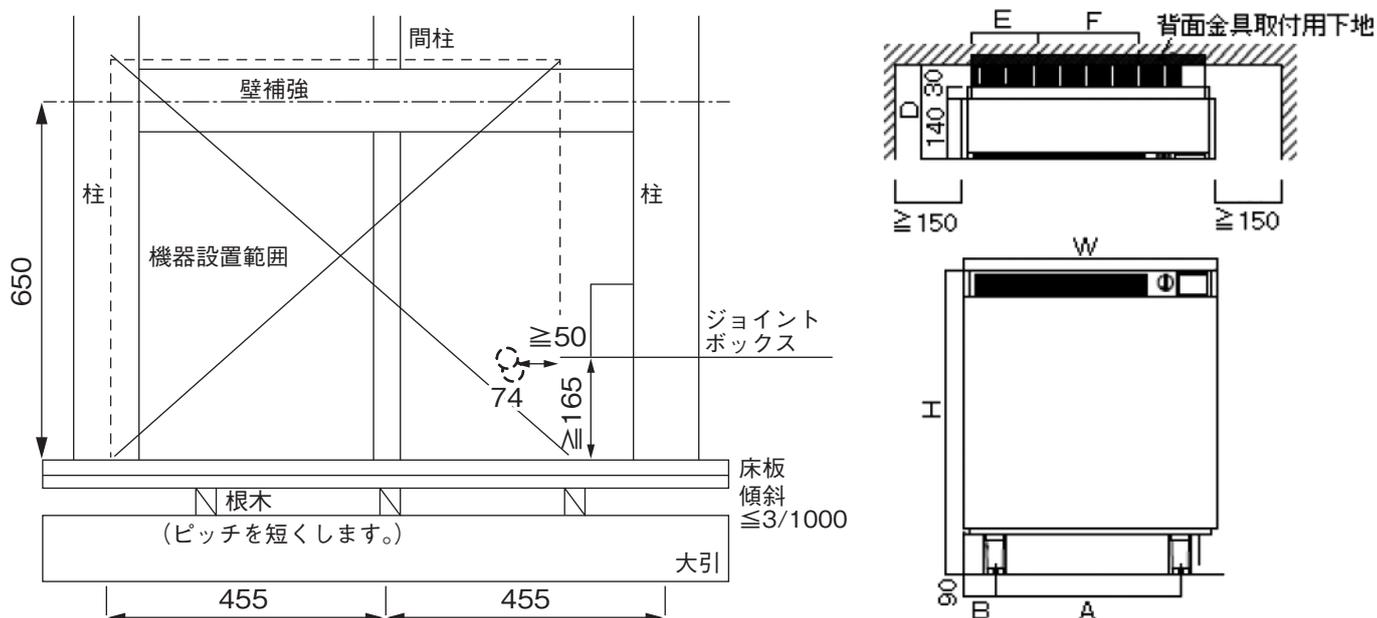
単相200V3芯の屋内配線と、機器に接続されている3芯の電源ケーブルは、機器右側に設けたジョイントボックス内で接続してください。

# 5. 機器の設置

## 5-1. 設置場所の確認と屋内配線の準備

### 5-1-1. 設置場所の確認

- ① 機器を設置する床に、機器の質量に耐える補強がしてあることを確認します。
- ② 機器の設置位置に畳や、じゅうたん、クッションフロア等が敷かれていないことを確認します。
- ③ 機器を設置する床面が水平であること (床の傾斜  $\leq 3/1000$ ) を確認します。
- ④ 機器を固定する壁補強が、床上650mmの高さで柱や間柱に固定してあることを確認します。
- ⑤ 機器設置位置の右端から50mm以上かつ、床面から165mm以上離れた位置に設置したジョイントボックス (深型) 内で、屋内配線と電源ケーブルを接続できることを確認します。
- ⑥ 機器の離隔距離が守れることを確認します。
- ⑦ 壁紙、床材等は熱で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものを使用されていることを確認します。



壁面・床面固定位置等寸法表 (上右図)

型名	A	B	D	E	F	H	W
ETC-150TEJ	425	84	220	172	230	700	585
ETC-220TEJ	555	130			460		815
ETC-300TEJ	785	130			690		1045

### 5-1-2. 屋内配線に関する事前準備

- ① 機器設置位置の右端から50mm以上かつ、床面から165mm以上離れた位置にジョイントボックス (深型) を設置します。
- ② 内線規程に適合した屋内配線を準備します。

機種		150TEJ	220TEJ	300TEJ
総消費電力 (kW)		1.50	2.25	3.00
漏電ブレーカ定格電流 (A)		15	20	20
分岐回線の最小太さ	VV (mm)	1.6 (20)	1.6 (15)	1.6 (15)
	CV (mm <sup>2</sup> )	2 (20)	2 (14)	2 (14)

( )内の数値は電圧降下2%のときの電線こう長です。

### 5-1-3. シーズンセンサーの配線 (オプション)

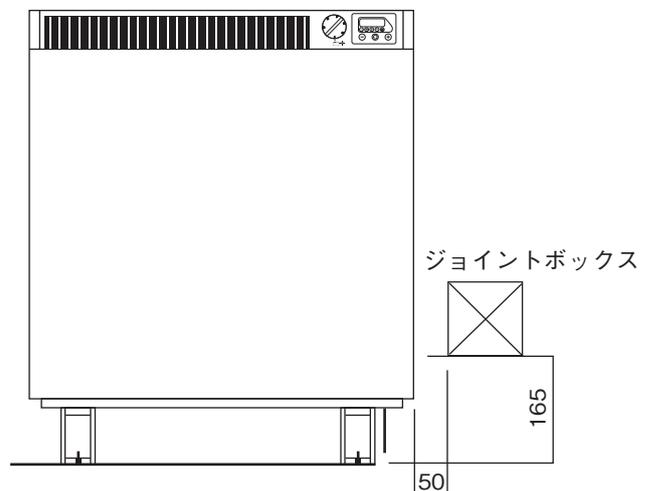
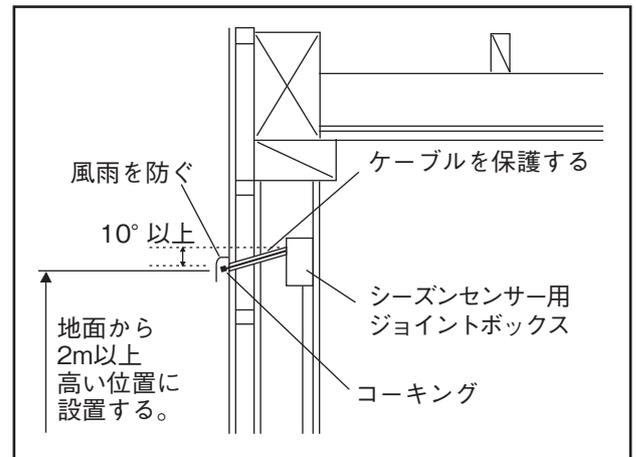
オプション部品のシーズンセンサーをご使用になる場合、以下の手順で設置します。

#### (1) 設置場所の選定

- ①シーズンセンサーの先端が、日射や、風雨に直接さらされない場所へ設置してください。
- ②シーズンセンサーの先端を、地面や床の近くに設置しないでください。輻射の影響により正確な温度が検知できない可能性があります。
- ③外壁や軒下に設置する場合は、住宅の排気や他の機器の排熱が当たらない場所に設置してください。
- ④下記のいずれかに当てはまる場合は、床下にシーズンセンサーを設置しないでください。
  - i) 基礎断熱している住宅の場合。基礎内が暖かいため蓄熱しなくなる可能性があります。
  - ii) 床暖房をしている住宅の場合。床暖房の影響を受けて蓄熱しなくなる可能性があります。
  - iii) 床下に暖房器を設置している住宅の場合。基礎内が暖かいため蓄熱しなくなる可能性があります。
  - iv) 基礎に囲まれた空間が、外気温と著しく異なる温度になる場合、基礎内が暖かいため蓄熱しなくなる可能性があります。

#### (2) シーズンセンサーの設置

- ①シーズンセンサーは、先端近くで必ず固定してください。
- ②シーズンセンサーを外壁に通す穴には、絶縁チューブを入れる等のケーブルの保護対策を施し、外壁に向け $10^{\circ}$ 以上の傾斜を設けてください。
- ③シーズンセンサーを通した穴は、コーキングし、雨水の侵入を防いでください。
- ④シーズンセンサーは、シーズンセンサー用ジョイントボックス内でオプション部品の通信ケーブル、または2芯 $0.5\text{mm}^2$ 以上、耐熱 $105^{\circ}\text{C}$ 以上の自己消火性のあるケーブルと接続します。
- ⑤シーズンセンサーケーブルは、他の電源ケーブルと並行させないでください。(150mm程度離さないとノイズを拾い正常に機能しない可能性があります。)
- ⑥機器設置位置の右側から50mm以上、床面から165mm以上離れた位置に、ジョイントボックス(電源ケーブル用のジョイントボックスと共有可)を設置し、これを介して機器の端子台に接続できるようにしておきます。

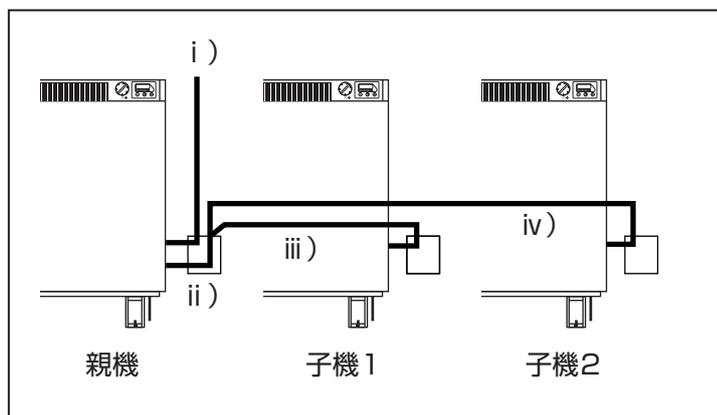


### (3) 子機への屋内配線の分岐

#### 1) ジョイントボックス内での分岐

①機器間に0.5mm<sup>2</sup>以上で2芯の屋内配線を以下の通り配線します。

- i) シーズンセンサーからの配線
- ii) 子機への配線
- iii) 親機から子機1への配線
- iv) 親機から子機2への配線

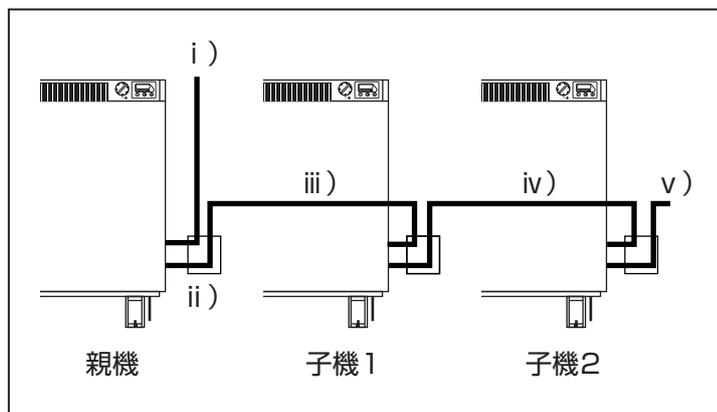


② (2) ⑥で設置したジョイントボックスに①の配線を引き込みます。

#### 2) 機器内部端子台での分岐

①機器間に0.5mm<sup>2</sup>以上で2芯の屋内配線を以下の通り配線します。

- i) シーズンセンサーからの配線
- ii) 子機への配線
- iii) 親機から子機1への配線
- iv) 子機1から子機2への配線
- v) 子機2から子機3への配線



② (2) ⑥で設置したジョイントボックスに①の配線を引き込みます。

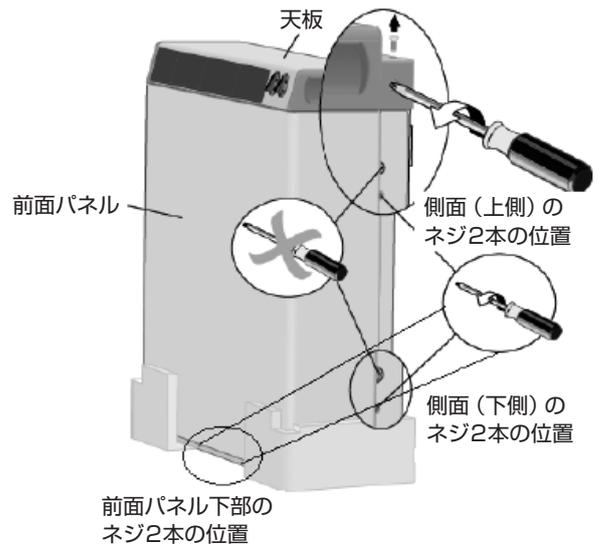
#### MEMO

- シーズンセンサーケーブルは、分岐しないでください。
- シーズンセンサーの接続方法の詳細は、P. 28「5-4. 配線の接続」をご覧ください。

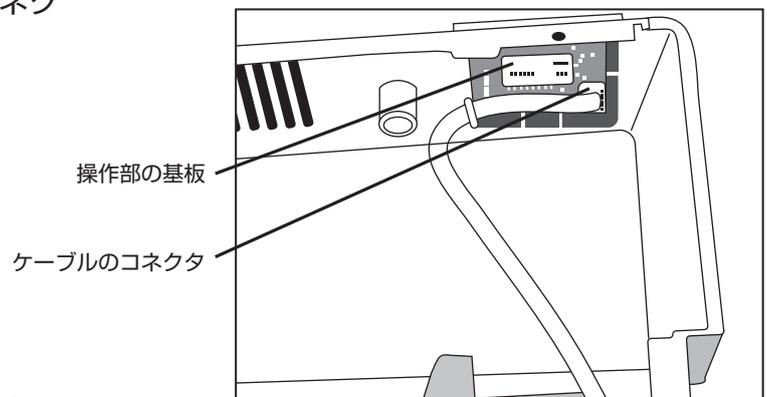
## 5-2. 機器の固定

### 5-2-1. 外装の取り外しかた

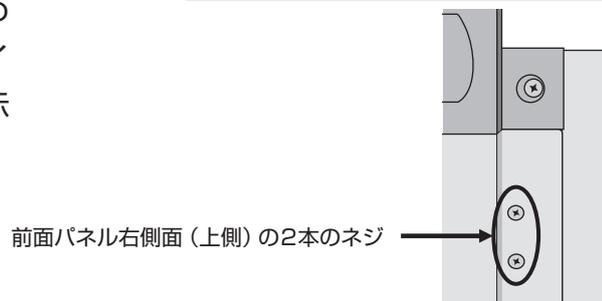
①天板の上面全てのネジおよび側面のネジ左右各1本をプラスドライバーで外し、天板を前にスライドさせて外します。



②操作部の基板に接続してあるケーブルのコンネクタを一旦抜きます。

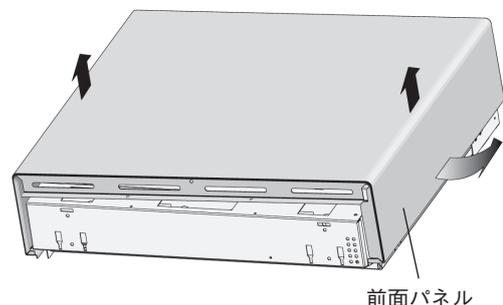


③前面パネル両側面上下の2ヶ所に2本ずつ止めてあるネジの内、下側のネジをプラスドライバーで外します。(右図は、右側面(上側)を示します。)



④前面パネル下部のネジ2本をプラスドライバーで外します。

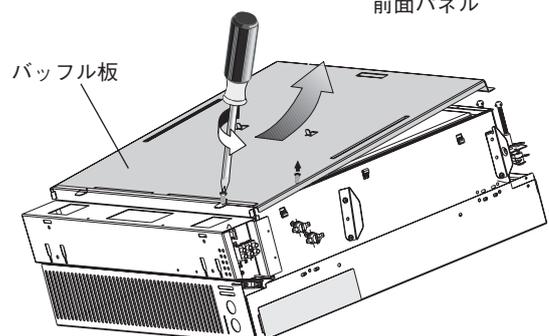
⑤前面パネルを向って右側から開くように取り外します。



⑥前面のバッフル板を固定しているネジをプラスドライバーで全て外します。

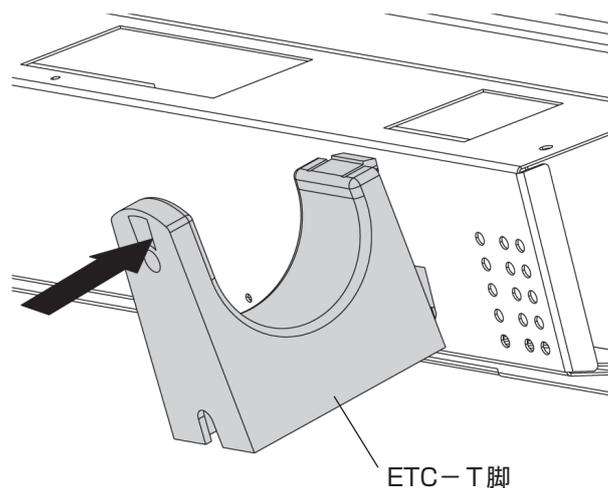
⑦バッフル板を上方向に引き抜きます。

⑧中に入っているダンボール製のスペーサーと、ETC-T脚、及び背面金具床固定ネジセットを取り出します。

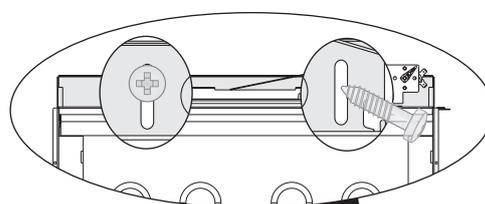


## 5-2-2. 機器の固定のしかた

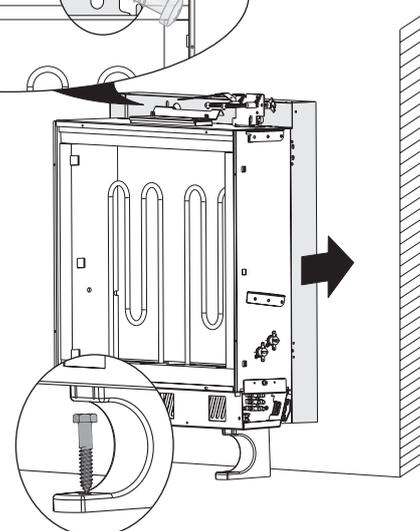
①ETC-T脚は機器の下部の角穴に後部を差し込み、前部を機器の下から上に押しではめ込みます。



②機器を壁と床面にぴったりと押し付け、上部奥の2ヶ所のネジ穴を使用して付属のネジとワッシャーで壁面に固定します。



③脚部先端のネジ穴を使用して付属のネジとワッシャーで脚部を床面に固定します。



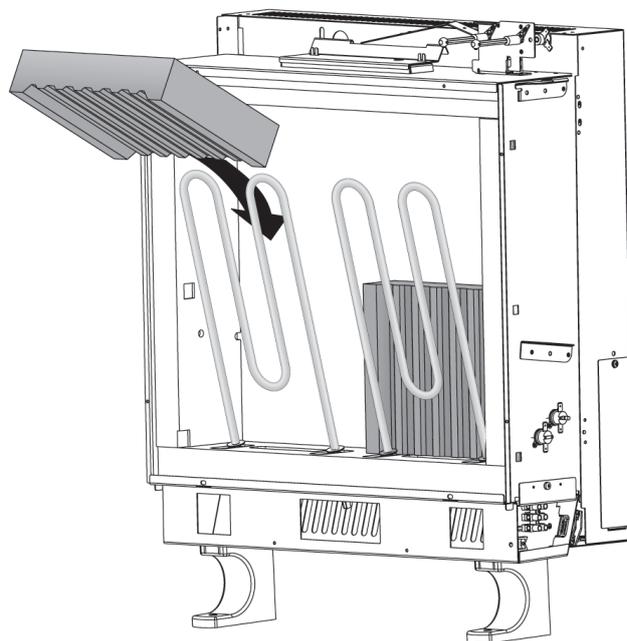
### MEMO

○付属のネジでは長さが不足する場合は、φ6mmの適切な長さのネジをご使用ください。

## 5-3. 蓄熱体の組込み

### 5-3-1. 蓄熱体の組込み

①ヒーターを機器前面側に傾けた状態にして、蓄熱体を機器背面側下段の右側から左側へ、溝を前面側に向けて組み込みます。

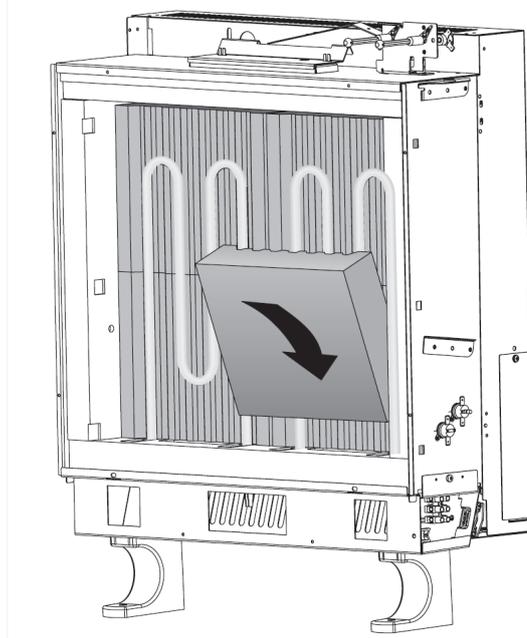


②蓄熱体間に隙間が生じないように右側に詰めます。

③ ②の作業後、蓄熱体を機器背面側上段の右側から左側へ溝を前面側に向けて組み込みます。

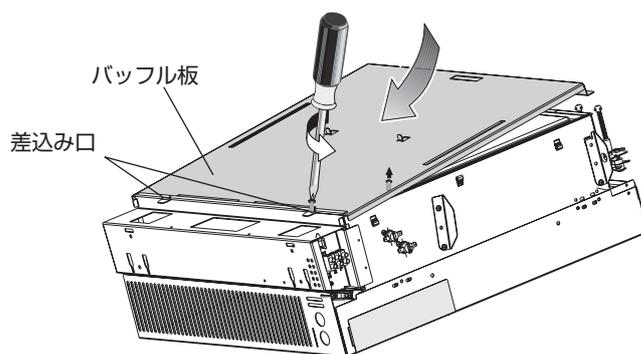
④ ③の作業後、ヒーターを元の位置に戻し、蓄熱体を前面側下段の右側から左側へ溝を背面側に向けて組み込みます。

⑤ ④の作業後、蓄熱体を前面側上段の右側から左側へ溝を背面側に向けて組み込みます。

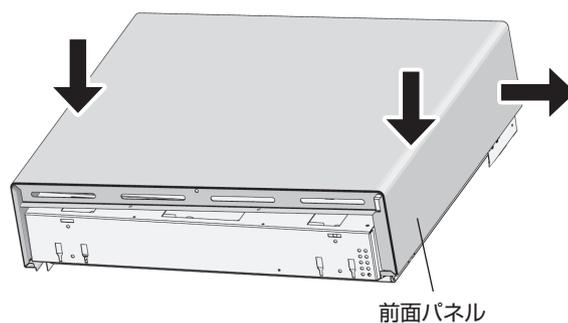


### 5-3-2. 外装パネルの取付けかた

①前面のバッフル板を機器躯体上方から差し込み、全てのネジをプラスドライバーで止めて固定します。

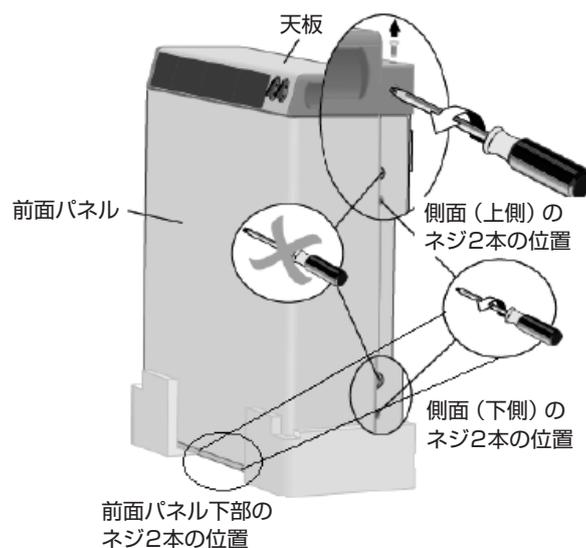


②前面パネル左側を差し込み、次に右側を少し外側に開きながら差し込みます。

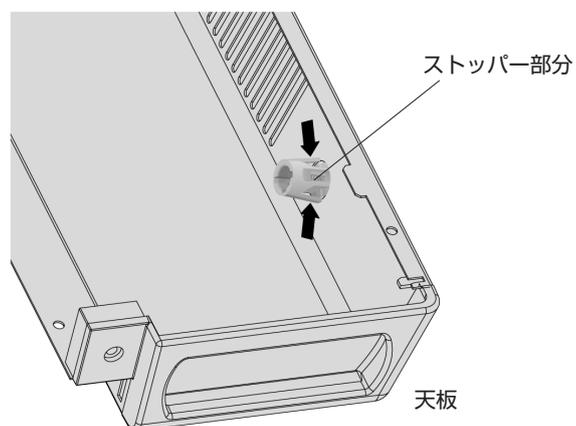


③前面パネルの前面下部2本のネジをプラスドライバーで止めます。

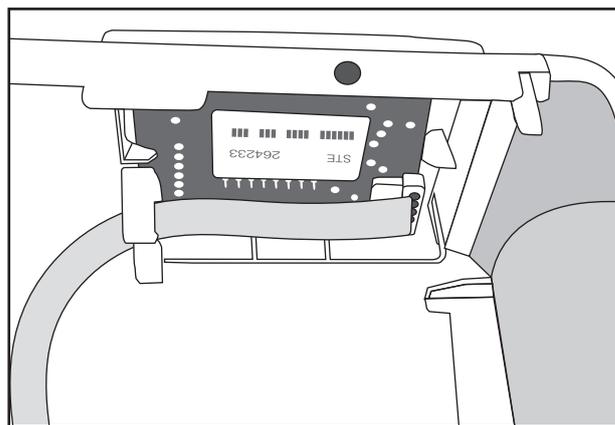
④5-2-1③項で外した前面パネル側面左右各2本のネジをプラスドライバーで固定します。



⑤放熱ダイヤルのストッパー部分を押し、天板から放熱ダイヤルを手前に引いて外します。



- ⑥操作部から外したケーブルのコネクタを元の位置に戻します。
- ⑦天板を前面側から背面側へ差し込むように機器の所定の位置に移動させます。
- ⑧天板を固定するネジをプラスドライバーで全て止めます。
- ⑨放熱ダイヤルをダイヤルの軸に合わせて差し込み、放熱ダイヤルの設定を「6」にして、ダンパーが開くことを確認します。



## 5-4. 配線の接続

### 5-4-1. 電源ケーブル

- ①機器背面側下部から機器外に出ている電源ケーブル（「T」、「R」「アース」（緑と黄色のストライプ）をジョイントボックス内で屋内配線に接続します。
- ②電源ケーブルは、減線しないように注意し、ケーブルの太さに適したスリーブで接続します。
- ③自己融着テープを使用して、スリーブの絶縁処理を行ないます。

### 5-4-2. シーズンセンサー

- ①シーズンセンサーの接続は、右面パネル内の端子台「W1～W5」を使用します。  
以下の結線図を参照し正しく接続してください。  
接続を誤ると正しく動作しません。

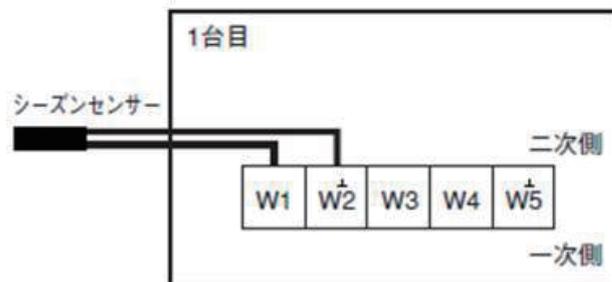
- ②機器内部への接続は必ず耐熱ケーブルをご使用ください。  
(シーズンセンサーの素材は耐熱ケーブルです。  
シーズンセンサーを切断して使用することも可能です。 ※右図参照)



- ③以下の(1)、または(2)項で機器に接続したシーズンセンサーの配線は、P. 22「5-1-3. シーズンセンサーの配線（オプション）」で用意した屋内配線とジョイントボックス内で接続します。

#### (1) 単独（1台）でシーズンセンサーを使用する場合

- ①シーズンセンサーの配線を端子台「W1」、「W2」の二次側へ接続します。  
(シーズンセンサーのケーブルに、極性はありません。)



## (2) 複数台でシーズンセンサーを使用する場合

### ① 並列接続の場合（10台以下の場合には、並列接続を推奨します。）

シーズンセンサーの信号を受ける親機を決めます。

#### MEMO

○親機（1台目）の専用ブレーカを「切」（OFF）にすると、シーズンセンサーの信号が子機へ伝わらなくなりますので、暖房期間中最後まで使用する機器を、親機にすることをお勧めします。

親機（1台目）から子機への接続（極性あり）

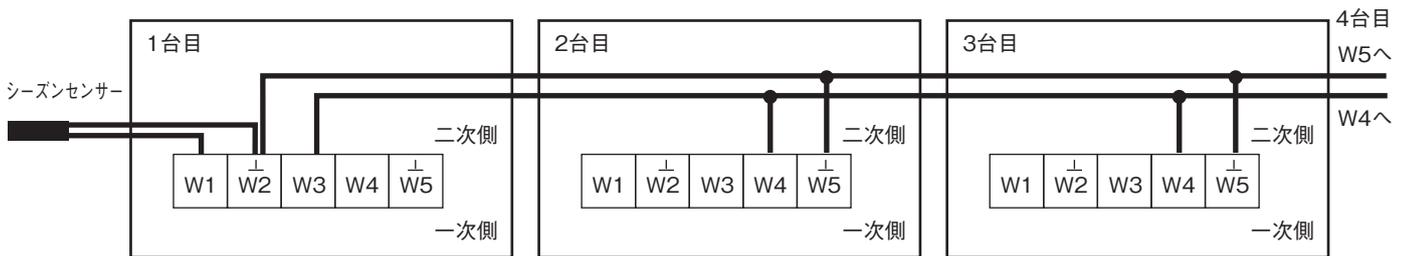
親機「W2」→ 子機「W5」

親機「W3」→ 子機「W4」

子機間の接続

子機「W4」→ 子機「W4」

子機「W5」→ 子機「W5」



○ETS-TEJやETS-TFJ、ETT-TJ/TJT等のファン内蔵の機器と接続する場合は、必ずETC-TEJを子機とします。

### ② 直列接続の場合（11台以上の場合には、直列接続を交え並列接続を行います。）

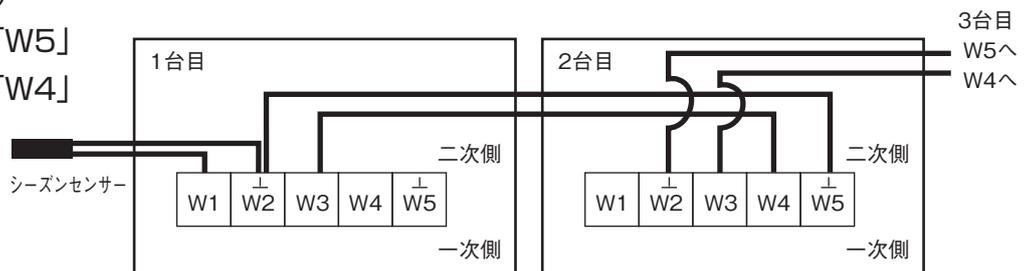
直列接続の場合、通信時間が1台につき1分程度遅れます。

直列接続の場合、制御電源をOFFにした機器以降につながる子機は、外気温の信号が受信できないため設定蓄熱量を手動で操作する必要があります。

子機間の接続（極性あり）

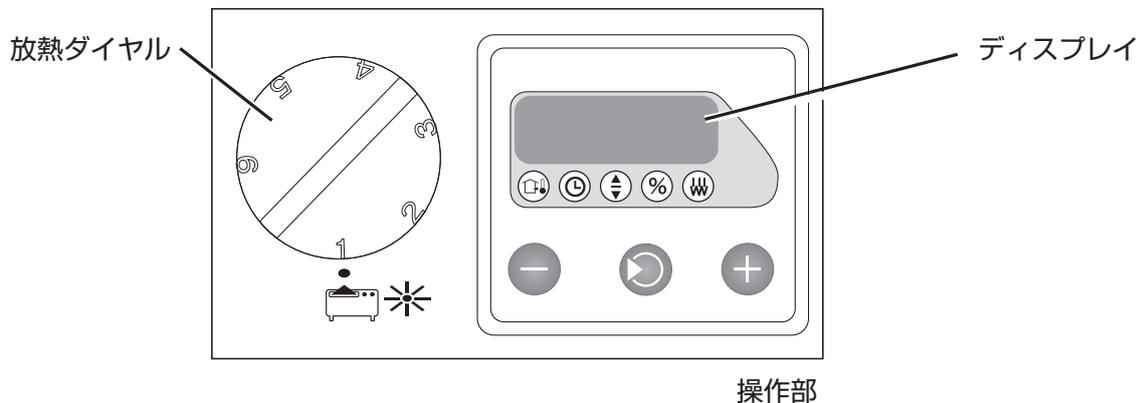
子機「W2」→ 子機「W5」

子機「W3」→ 子機「W4」



## 6. 試運転の手順

- シーズンセンサーを接続している場合は、試運転を行なっている間、機器端子台の「W1」、または「W5」に接続してあるシーズンセンサーの配線を外します。



- ①機器の専用ブレーカが「切」(OFF)の状態、機器の端子台「T」、「R」とアース間の絶縁が1 MΩ以上あることを確認します。

### おねがい

- 絶縁抵抗が1 MΩ未満の場合は、内部の蓄熱体や断熱材が吸湿している可能性があるため、約8時間蓄熱を行なった後に再度絶縁抵抗を確認します。
- 専用ブレーカ、屋内配線の絶縁抵抗に異常がなく、上記実施後も絶縁抵抗が1 MΩ未満の場合は、日本スティーベル(株)にご連絡ください。

- ②機器専用ブレーカの容量が機器に適合していることをP.20「4-1.標準仕様」で確認の上、「入」(ON)にして、現在時刻が点滅していないこと、日本標準時と誤差がないことを確認します。

### MEMO

- 現在時刻が点滅している場合は、<プラスボタン>を1回押して点滅を止め、現在時刻を日本標準時に合わせます。
- ③ P. 5「3-1-2. 通電開始時間及び通電時間の設定のしかた」を参照して、通電開始時間と通電時間を確認の上、必要に応じてお客様のご希望に沿って変更します。
- ④ P. 6「3-2. 蓄熱量の設定」を参照して、設定蓄熱量を100%に設定します。
- ⑤操作部の<プラスボタン>と<モードボタン>を同時に3秒間以上押して、「通電表示」が点滅することを確認します。

⑥機器の電圧と電流が下表の値の±10%の許容範囲内であることを確認します。

型名	電圧 (V)	総消費電力 (kW)	単相電流値 (A)	単相抵抗値 (Ω)
ETC-150TEJ	単相200	1.50	7.50	26.7
ETC-220TEJ		2.25	11.25	17.8
ETC-300TEJ		3.00	15.00	13.3

⑦ ⑥の後、操作部の<マイナスボタン>と<モードボタン>を同時に3秒間以上押して、「通電表示」を消灯させます。

⑧P. 6「3-2. 蓄熱量の設定」を参照して、設定蓄熱量を0%に設定します。

⑨シーズンセンサーを接続している場合は、P. 7「3-2-2. シーズンセンサーをご利用で設定を変更する場合」を参照して、最大蓄熱時の外気温度と蓄熱開始時間を必要に応じてお客様のご希望に沿って変更します。機器端子台にシーズンセンサーを再接続し、平均外気温度が表示されることを確認します。

⑩機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にします。

⑪機器の放熱ダイヤルを1から6、6から1へと回し、機器内部のダンパーが開閉することを確認します。

#### (4) 検査記録

お客様名			
担当会社名			
検査者名			
検査日			
検査項目	検査結果	摘要	参照ページ
機器の絶縁抵抗		絶縁抵抗値を記載	P. 31
ブレーカの定格電流値		ブレーカの定格電流値を記載	P. 20
「現在時刻」確認		チェックのみ	P. 4
「通電開始時間」設定		設定時間を記載	P. 5
「通電時間」設定		設定時間を記載	P. 5
ヒーターの電流値		電流値を記載	P. 31
シーズンセンサーの有無		チェックのみ	P. 7
シーズンセンサーのパラメーターの値			
A :			P. 7
B :			P. 8
C :			P. 8
機器の離隔距離の確保		チェックのみ	P. 17
ジョイントボックスの位置		チェックのみ	P. 21
壁の補強		チェックのみ	P. 21
機器の壁固定		チェックのみ	P. 24
床の補強		チェックのみ	P. 21
機器の床固定		チェックのみ	P. 25
機器の水平		チェックのみ	——
機器の外観		チェックのみ	——
備考			

# 保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記品番の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		
	お名前 様		
お取扱い店	社名	印	取扱者
	〒 住所		印
	電話 ( ) -		
お取付け日	年	月	日

品番	ETC-150TEJ	
	ETC-220TEJ	
	ETC-300TEJ	
製造番号	- -	
保証期間	製品	お取付け日から1年

機器はお取付け日から1ヶ年保証です。

## ★お客様へ

この保証書をお受取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### (無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。  
「お取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル（株）の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等により、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
  - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
  - お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
  - 指定外の電源(電圧・周波数)で使用した場合の故障や損傷。
  - 一般の建物以外(例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設)等で使用された場合の故障や損傷。
  - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
  - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
  - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
  - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

**TEL:044-540-3203**

平日 9:00~17:30 (土日祝日および特定休業日を除く)

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル8F

ホームページ <http://www.nihonstiebel.co.jp>

■製造者  
スティーベルエルトロン

所在地、電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。

本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。